

令和4年

火災・救急・救助の概況

岡崎市消防本部

火 災 の 概 況

令和4年中の岡崎市における火災概況は出火件数88件、火災による焼損面積は建物1,680㎡、林野1a、損害額は1億7,257万8千円、火災による死者は1人、負傷者は13人であった。出火件数は、前年から7件減少しており、焼損面積のうち建物の数値については前年から増加しているが、過去10年平均と比較すると減少している。林野の数値については、双方の数値から減少している。損害額については前年から増加しているが、過去10年平均と比較すると減少している。

(第1表)

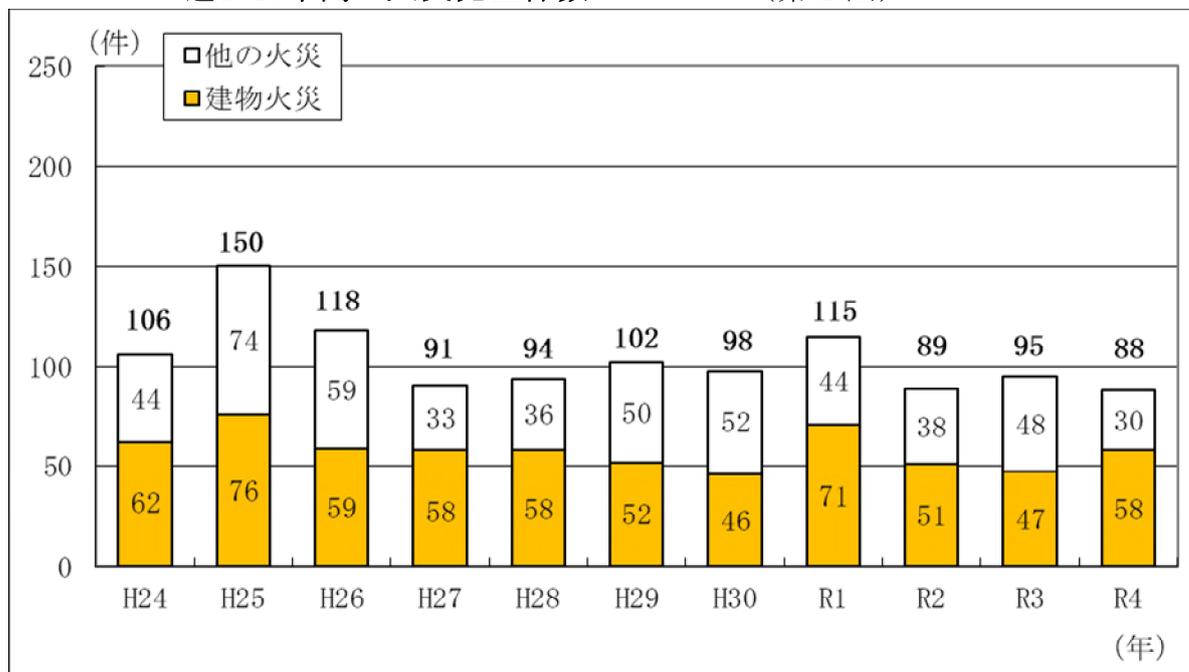
【火災概況】		(第1表)				
比較		令和4年	令和3年	比較	過去10年平均	比較
区分		(A)	(B)	(A)-(B)	(C)	(A)-(C)
出火件数(件)		88	95	△7	106	△18
火災種別	建物火災	58	47	11	58	0
	林野火災	1	6	△5	4	△3
	車両火災	12	11	1	12	0
	その他の火災	17	31	△14	32	△15
焼損面積	建物(㎡)	1,680	1,387	293	2,363	△683
	林野(a)	1	32	△31	23	△22
損害額(千円)		172,578	121,517	51,061	224,032	△51,454
死傷者(人)	死者	1	3	△2	3	△2
	負傷者	13	25	△12	18	△5

備考 △印は、減を示す。

1 出火件数

出火件数の88件を火災種別ごとにみると、建物火災が58件（66%）と最も多く、以下その他の火災17件（19%）、車両火災12件（14%）、林野火災1件（1%）の順となっている。（第1表、第1図）

過去10年間の火災発生件数 (第1図)



2 損害額

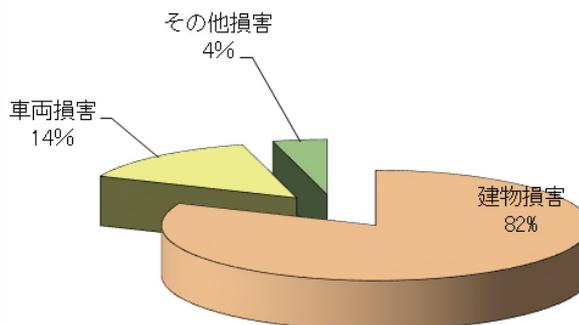
火災による損害額1億7,257万8千円の内訳をみると、最も多いのは建物損害の1億4,062万円で全損害の82%を占め、以下車両損害の2,490万9千円、その他損害の704万9千円の順となっている。（第2表、第2図）

損害額1億7,257万8千円は、前年の1億2,151万7千円と比較すると5,106万1千円の増加であり、過去10年平均の2億2,403万2千円より5,145万4千円下回っている。（第1表）

【損害額の内訳】 (第2表)

損害種別	損害額 (千円)
建物損害	140,620
車両損害	24,909
その他損害	7,049
林野損害	0
合計	172,578

(第2図)



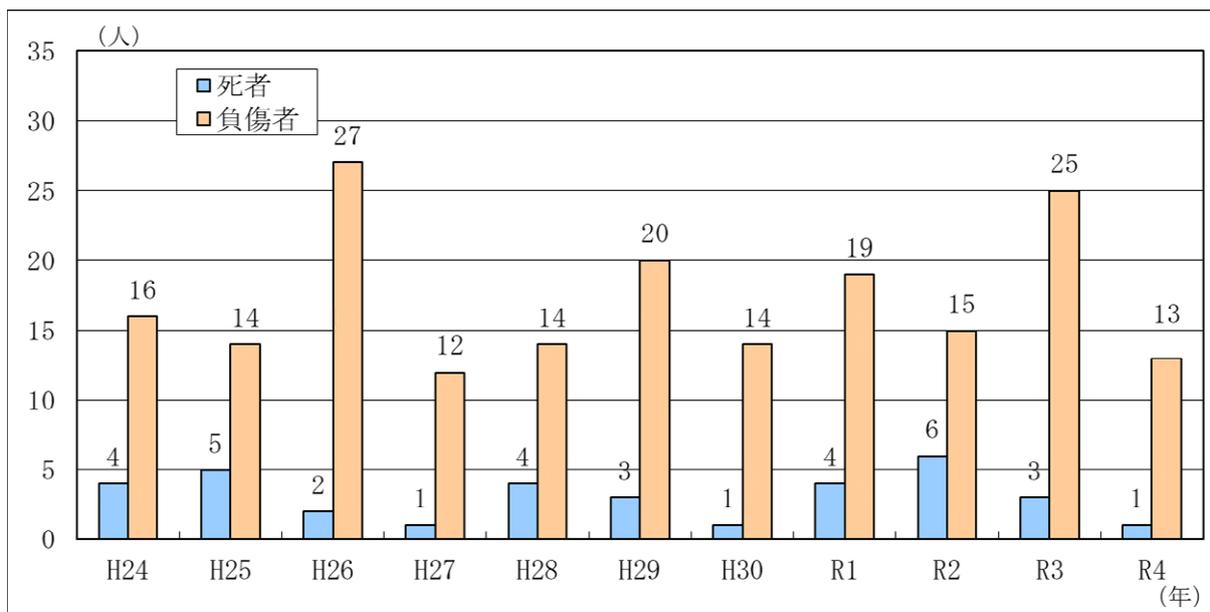
3 死者・負傷者

火災による死者は1人で、前年の3人と比較すると2人減少しており、過去10年平均の3人より2人下回っている。

また、火災による負傷者は13人で、前年の25人と比較すると12人減少しており、過去10年平均の18人より5人下回っている。(第1表、第3図)

過去10年間の死者・負傷者の発生状況

(第3図)

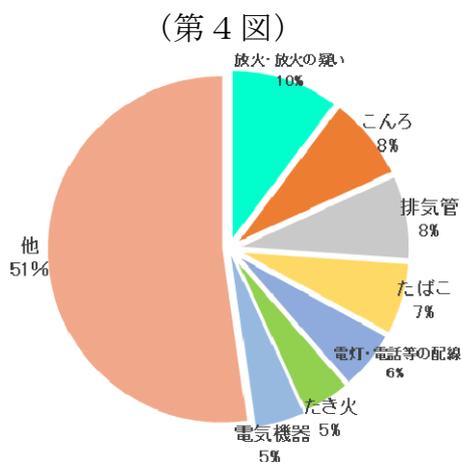


4 出火原因

出火件数 88 件の主な出火原因をみると、「放火・放火の疑い」が 9 件 (10%) と最も多く、以下「こんろ」及び「排気管」が共に 7 件 (8%)、「たばこ」が 6 件 (7%) の順となっている。(第3表、第4図)

【主な原因別件数】 (第3表)

区分 出火原因	令和4年 (件)	令和3年 (件)	比較 (件)
放火・放火の疑い	9	14	△5
こんろ	7(2)	13(6)	△6(4)
排気管	7	3	4
たばこ	6	12	△6
電灯・電話等の配線	5	3	2
たき火	4	12	△8
電気機器	4	6	△2
他	46	32	14
合計	88	95	△7



備考1 △印は、減を示す。

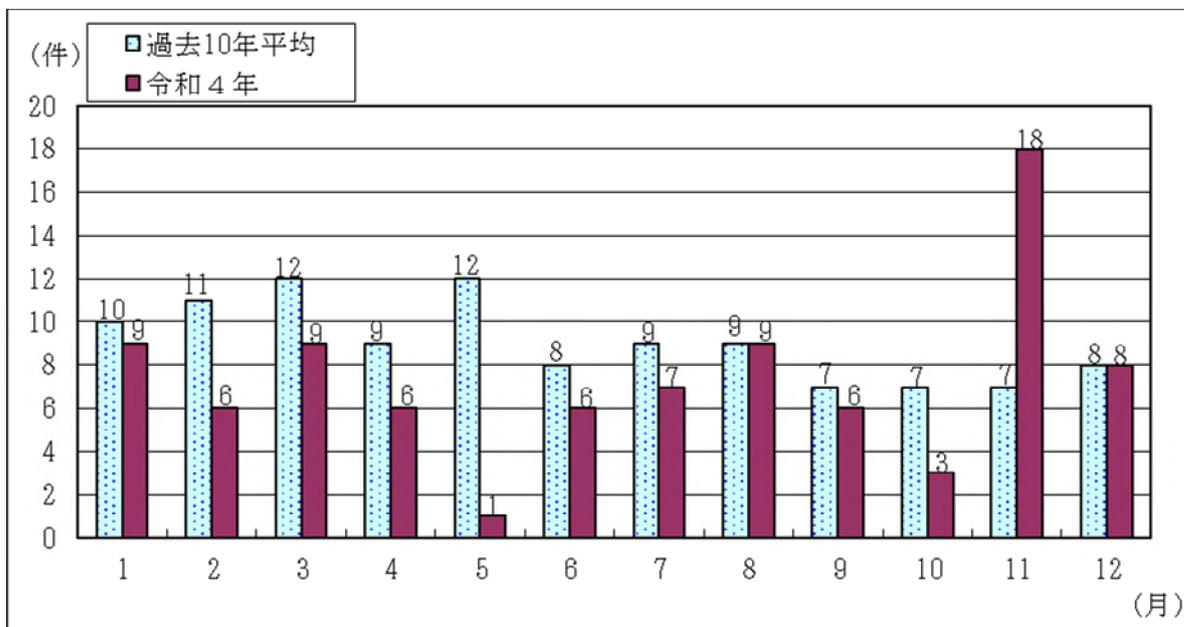
2 こんろの()内は、天ぷら油火災を示す。

5 月別出火状況

出火件数 88 件を月別にみると、11 月が 18 件（20%）と最も多く、続いて 1 月、3 月及び 8 月が 9 件（10%）の順となっている。（第 5 図）

月別出火件数

（第 5 図）



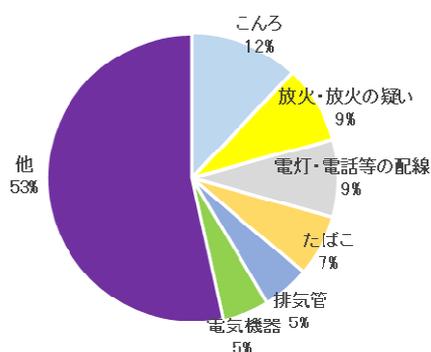
6 建物火災の状況（主な出火原因）

建物火災 58 件の主な出火原因別をみると、「こんろ」7 件（12%）が最も多く、以下「放火・放火の疑い」5 件（9%）、「電灯・電話等の配線」5 件（9%）の順となっている。（第 4 表、第 6 図）

【主な原因別件数】（第 4 表）

出火原因	出火件数 (件)
こんろ	7
放火・放火の疑い	5
電灯・電話等の配線	5
たばこ	4
排気管	3
電気機器	3
他	31
合計	58

（第 6 図）



救 急 の 概 況

令和4年中の救急出場件数は17,665件で、搬送人員は16,254人であった。

前年と比較すると出場件数で2,464件、搬送人員は2,150人の増加であった。

種別内訳では、急病が12,135件(69%)で最も多く、以下一般負傷が2,401件(14%)、交通事故が1,050件(6%)の順となっている。増加したものは、自然災害、水難、交通事故、労働災害、一般負傷、加害、自損行為、急病及びその他で、減少したものは、火災及び運動競技であった。(第1表)

【救急出場状況表】

(第1表)

比較 区分		令和4年	令和3年	比較	過去10年平均	比較
		(A)	(B)	(A)-(B)	(C)	(A)-(C)
救急出場件数		17,665	15,201	2,464	15,749	1,916
搬送人員		16,254	14,104	2,150	14,552	1,702
種別内訳	火災	44	48	△4	46	△2
	自然災害	1		1	2	△1
	水難	13	5	8	4	9
	交通事故	1,050	949	101	1,233	△183
	労働災害	173	172	1	172	1
	運動競技	60	71	△11	97	△37
	一般負傷	2,401	2,115	286	2,006	395
	加害	57	36	21	57	0
	自損行為	180	167	13	175	5
	急病	12,135	10,265	1,870	10,544	1,591
	その他	1,551	1,373	178	1,414	137

備考 △印は、減を示す。

月別救急出場状況

月別救急出場件数は、8月が1,733件と最も多く、4月が1,261件と最も少なかった。1か月の平均は1,472件で、1日平均48件となっており、30分に1件の割合で出場したことになる。（第2表）

搬送人員では、7月と8月が1,575人と最も多く、4月が1,154人と最も少なかった。1か月の平均は1,355人で、1日平均45人となっており、市民24人に1人が救急車で搬送されたことになる。（第3表）

【月別救急出場件数】 (第2表)

種別 月別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
1月	4		1	78	15	2	212	3	18	1,007	103			18	1,461
2月	3			69	9	2	179	2	22	948	132			9	1,375
3月	8		1	73	14	4	174	7	11	887	118			18	1,315
4月	3		1	88	16	5	172	3	9	854	89			21	1,261
5月			1	78	8	2	177	2	20	896	107			16	1,307
6月	1			70	22	5	200	5	15	983	103			25	1,429
7月	4	1		100	20	13	221	7	10	1,179	126			39	1,720
8月	4		5	102	22	6	187	3	17	1,268	97	1		21	1,733
9月	1		2	98	16	5	181	3	11	1,036	102	1		23	1,479
10月			1	105	11	7	236	6	20	959	93			20	1,458
11月	10			109	10	4	212	7	15	955	123			11	1,456
12月	6		1	80	10	5	250	9	12	1,163	119			16	1,671
合計	44	1	13	1,050	173	60	2,401	57	180	12,135	1,312	2	0	237	17,665

【月別搬送人員状況表】 (第3表)

種別 月別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
1月				70	15	2	200	3	14	936	103				1,343
2月	2			67	8	2	171	1	17	861	132				1,261
3月	1			64	14	4	165	6	6	835	118				1,213
4月				82	16	5	159	3	8	792	89				1,154
5月				74	8	2	168	2	14	847	107				1,222
6月				64	22	5	183	4	10	925	103				1,316
7月	1			100	20	13	197	6	6	1,105	127				1,575
8月	1		3	100	20	6	169	3	16	1,160	97				1,575
9月			1	89	16	5	173	2	7	981	101				1,375
10月			1	99	11	6	220	5	18	891	93				1,344
11月	4			110	8	4	202	7	10	879	123				1,347
12月	2		1	71	10	5	236	6	10	1,070	118				1,529
合計	11	0	6	990	168	59	2,243	48	136	11,282	1,311	0	0	0	16,254

救 助 の 概 況

令和4年中の救助出動件数は286件で、救助人員は134人であった。

前年と比較すると出動件数は51件、救助人員は22人の増加であった。

過去10年間の平均出動件数は159件で、127件の増加であった。

種別内訳からみると、その他の事故が全体の約38%にあたる108件を占め、続いて建物等による事故が97件（約34%）となっている。（第1表）

【救助出動状況】

（第1表）

区 分		比 較		過去10年平均 (C)	比 較 (A)-(C)
		令 和 4 年 (A)	令 和 3 年 (B)		
救 助 出 動 件 数		286	235	159	127
救 助 人 員		134	112	87	47
種	火 建 物	3	6	△ 3	△ 6
	災 建 物 以 外			0	△ 2
別	交 通 事 故	50	43	7	4
	水 難 事 故	16	5	11	12
内	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	1		1	1
	機 械 に よ る 事 故	7	2	5	4
訳	建 物 等 に よ る 事 故	97	78	19	48
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	4	6	△ 2	1
訳	破 裂 事 故			0	0
	そ の 他 の 事 故	108	95	13	65

備考 △印は、減を示す。

月別救助出動状況

月別救助出動件数では、1か月の平均は約24件であり、8月の35件が最も多く、6月の15件が最も少なかった。(第2表)

【月別救助出動状況】

(第2表)

種別 月別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
1月	1		3	1			11			16	32
2月	1		3				7			5	16
3月			4	1			12	1		9	27
4月			6	3		1	8			10	28
5月			2	1		1	7			9	20
6月			2			1	4			8	15
7月			3		1	1	6			8	19
8月	1		7	3		2	7	2		13	35
9月			3	3			9			11	26
10月			10	1			7	1		6	25
11月			3	1		1	8			4	17
12月			4	2			11			9	26
合計	3	0	50	16	1	7	97	4	0	108	286